

弦楽4重奏 13日に公演

ベートーヴェン協会

沖繩ベートーヴェン協会(田幸正邦会長)第四回演奏会が十三日午後七時から、那覇市のパレット市民劇場で開かれる。

毎年恒例の同企画、今回は「弦楽四重奏曲第4番ハ短調作品18-4」「弦楽四重奏曲第13番変ロ長

調作品130」を披露する。入場一般二千円、小中学生千円(当日五百円増)。

出演は第一バイオリン・宮良美香、第二バイオリン・金城千賀子、ビオラ・新垣伊津子、チェロ・城間恵。

聞きどころは県内ではめったに演奏されることのない「第13番」はベートーベンの絶筆。四人の奏者は「弦楽曲の聖域。良いチャンスと思って勉強し、本番では心を込めて演奏したい」。

田幸会長は「ベートーベンが終生愛した女性ヨゼフィーヌへの思いの深さ、天国と現世を行き来するような幸福感あふれる音楽を聴いてほしい」と話した。問い合わせは田幸☎098(895)8814。



沖繩ベートーヴェン協会第4回演奏会の出演者ら。琉球新報社

荒 求 幸 段 (夕刊) 2007年(平成19年) 9月6日 木曜

ベートーヴェン 協会が演奏会

12日、うるま市

沖繩ベートーヴェン協会(田幸正邦会長)第二回演奏会が十二日午後七時から、うるま市民芸術劇場燈ホールで開かれる。演奏者にピアノの平良敏人、新垣みのりを迎え、「ピアノソナタ第12番『葬送』」「創作主題による32の変奏曲」どうしてヨゼフィーヌは心愛わりしたのか?」「ピアノソナタ第17番『テン

ペスト』」「ピアノソナタ第31番作品110変イ長調」を披露。前売り大人二千円、高校生以下千円(当日は五百円増)。

「壮絶な人生を送った人ゆえに、多くの人の共感を得られるのだと思う。自分なりの解釈で、多くの人に曲の魅力を知ってほしい」と平良。新垣は「厳格でごまかしがきかない、演奏者泣かせの作曲家。非常に勉強になる」と意気込む。田幸会長は「曲の中に濃縮された思いを存分に引き出してほしい」。問い合わせは同協会事務局☎098(895)8814まで。



沖繩ベートーヴェン協会主催の演奏会に出演する(左から)平良敏人、新垣みのりと田幸正邦同協会長。琉球新報社